

HITACHI

ノウハウ見える化・継承ソリューション

そのノウハウ、 組織に残せていますか

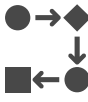
人財の退職・転職などの流動化が進む今、
企業の実務を支えるノウハウを組織資産として残すことが、
企業競争力の向上に貢献します。

今、**組織**で起きていること

現場でよくある課題	その結果
 不明点が多く確認に時間がかかる	 業務品質がばらつく
 ベテランしか対応できない業務がある	 属人化が進む
 異動・退職でノウハウが失われる	 業務継続リスクが高まる

ノウハウを効果的に**継承する仕組みづくり**が求められます。

現行の実務ノウハウを4つに分類し、継承ドキュメントの充足度を確認

1 論理的・分析的思考  例：技術ノウハウ (設計・設定)	2 直感的・創造的思考  例：業務ノウハウ (根拠・背景)	3 組織的・計画的思考  例：プロセスノウハウ (運用・手順)	4 感情的・対人的思考  例：人的コネクション (連絡・調整)
 ノウハウ保持状況 の可視化	 計画的な継承	 継続的な更新	

まずは、現状把握からはじめませんか？

実務ノウハウ継承ドキュメントを構造化し、継承に必要な情報の充足度を可視化します。

継承マネジメントという新しいアプローチ

ノウハウ見える化・継承 ー 継承マネジメント ー

管理対象	実務ノウハウ
主目的	業務継続・育成・更新
成果	事業の継続
主導	現場・マネージャー
期待効果	業務継続・品質向上/ 組織知の蓄積・活用



※デモ画面

期待される導入効果



属人化リスクの低減



業務品質維持・向上



DX・AIの活用

研究開発中の支援機能

「次の担当者が業務を再現しやすくする」継承ドキュメントづくりを生成AIで支援

① ひな型生成



対応業務に応じて、
継承に必要な観点を
含んだノウハウ記録の
ひな型を自動生成。

② 再現性診断



次の担当者が読んで
業務を理解・再現
できる内容か、
不足観点を診断。

③ 改善支援



判断理由・例外対応・
関係者調整などの
不足箇所を補完し、
修正案を提示。

※ 提供時期・仕様は変更となる場合があります。

ソリューションについて詳しくは
www.hitachi.co.jp/knowhow_mieruka_keisho



株式会社 日立製作所

東京都千代田区丸の内一丁目6番6号 〒100-8280
<https://www.hitachi.com/ja-jp/>

Printed in 2026.09.01
Copyright © Hitachi, Ltd. 2026.
All rights reserved.